

「所内ビンゴ研修（屋内版）」実施要領

国立江田島青少年交流の家

1 内容

グループで協力しながら、ビンゴシートにあるものを交流の家施設マップのポイントを回りながら探し出し、得点を競う。

2 ねらい

グループで活動し、協調性を養う。
やり遂げた達成感を味わう。

3 対象者

小学生以上

4 人数

最大 200 人まで

5 実施時期、時間、場所

- (1) 実施時期…通年
- (2) 時間…午前 9 時 00 分～12 時 00 分
午後 13 時 30 分～16 時 30 分
活動時間…1 時間～1 時間 30 分
- (3) 場所…管理研修棟・宿泊棟など
スタート場所…体育館・研修室・ピロティエなどどこでも可能
- (4) 1 グループの最適人数…4～6 人

6 準備物

- (1) 個人：運動に適した服装 筆記用具 バインダー
- (2) 引率者：携帯電話 救急バッグ（貸出可）
- (3) 交流の家：施設マップ（グループ数） ビンゴシート（グループ数）、
ビンゴ解答用紙（グループ数）
ビンゴの解答（1 枚）

7 指導・安全管理

- (1) 指導者の配置・人数・役割分担
研修は、「所内ビンゴ研修」実施要領をもとに、団体が所内ビンゴの指導・安全管理等を行う。
- (2) 引率者の配置・人数・役割分担
活動団体で次の役割を持たせる。
 - ①総括責任者（全体の総括、緊急時の連絡担当）・・・1 人
 - ②指導担当者（指導、用具の準備、安全管理）・・・1 人
 - ③監視担当者（要所での安全管理：監視場所は任意）・・・3 人
 - ④救護担当者（健康観察・応急処置）・・・1 人※家族等、小集団で引率者が各グループに入り回る場合は、引率者が①②④の役割を兼ね、
③をおこななくてもよい。

※ 監視担当者は、総括責任者・指導担当者・救護担当者が兼ねてもよい。

(3) 事故発生時の措置

- ①総括責任者：事故の状況を把握し、交流の家に携帯電話等で連絡を行う。
 - ②指導担当者：事故者を除いた研修生をスタート場所に集合させ、人数、名前を確認する。
 - ③監視担当者：救助に向かい、事故者を安全な場所に避難させる。
 - ④救護担当者：救助に向うとともに、応急処置を行う。
- ※ 引率者同士は、携帯電話を使って連絡を取り合う。

8 展開

(1) 「物品利用希望書」の提出

必要事項を記入し、総括責任者が入所時に交流の家へ提出する。

(2) 借用物品受け渡し

(指導担当者)

物品利用希望書の確認をし、「所内ビンゴ研修（屋内版）」実施要領をもとに、研修に必要な物品を受け取る。

(3) 事前指導

(指導担当者)

- ①ねらいを確認する。
- ②各班にビンゴシート、解答用紙（バインダーにはさむ）、施設マップを配る。
- ③ルールを説明する。
 - ア ビンゴシートに掲載している写真に写っているものと同じものがあるポイントを探し、そのポイント番号を解答用紙のビンゴシートと同じマスに書く。
 - イ 正解すると1マス毎に10点獲得する。
 - ウ ビンゴと同じで1列全て正解だとボーナスポイントとして20点獲得する。
 - エ 合計得点で順位を競う。
- ④団体に決めた制限時間（1時間～1時間30分）を伝える。
- ⑤ビンゴシートにある約束と注意事項を読みながら、その内容を確認する。

(4) 研修の実際

(指導担当者)

- ・グループでどこから回るか相談させる。
- ・回るポイントが決まったグループからスタートさせる。

(監視担当者)

- ・監視する場所に携帯電話を持って移動する。

(5) 事後指導

(指導担当者)

- ・答え合わせをし、順位を発表する。
- ・まとめをし、解散する。
- ・研修終了を事務室に報告するとともに、借用物品の返却をする。

9 連絡先

	一般電話番号	緊急通報用電話番号
江田島消防署（救急係）	(0823) 40 - 0358	119
江田島警察署	(0823) 42 - 0110	110
江田島青少年交流の家	(0823) 42 - 0660（代表）	
	(0823) 42 - 0661（プログラム担当係）	